

2025 年 7 月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	21,620,576	20,035,507	107.9%
国内旅行	5,428,985	5,171,128	105.0%
訪日旅行	948,688	1,046,140	90.7%
合 計	27,998,250	26,252,776	106.6%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ 5 社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。

■ 海外旅行

引き続き「SUPER SUMMER SALE! FINAL 2025」を展開し、夏の予約の更なる積上げに加え、秋・年末年始など早期の集客に努めました。また、夏のハワイの新たなアクティビティとして、オアフ島西部にあるウォーターフロント総合リゾート「ワイカイ」で HIS 貸し切りエリアでの「サンセット BBQ」を楽しめるパッケージを造成しファミリーやカップルを中心に需要獲得に努めました。取扱高においては、引き続き好調に推移する欧州に加え、昨年と比較し燃油サーチャージの引き下げや、米ドルが円高傾向にあることから、特に子連れの家族旅行の回復がみられ、ハワイ・ミクロネシアの前年同月比が 143%と好調に推移しました。一方で、取扱高を牽引するアジア方面においては、韓国・台湾方面での LCC を中心とした減便、機材の縮小化の影響や、間際の予約が伸び悩んだことから、前年同月比 91%となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比108%の 216 億 2,057 万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	前年同月比
アジア	91.3%
オセアニア・南太平洋	115.1%
ハワイ・ミクロネシア	143.3%
欧州・中近東・アフリカ	117.2%
北米・中南米	100.3%

商品別	前年同月比
手配旅行	102.3%
企画旅行	119.3%

チャネル別	前年同月比
店舗	115.2%
オンライン	104.5%

■ 国内旅行

夏休み期間における国内旅行予約の駆け込み需要に併せて、キャッシュレス決済サービス PayPay でお支払いいただくと、決済額の最大5%分の PayPay ポイントが戻ってくるキャンペーンを開催し、更なる夏の需要喚起を図りました。また、全国各地で記録的な猛暑が続く中、出発間際の予約が多いバスツアーを強化したことが奏功し、避暑地を訪れるバスツアーが前年同月比114%と好調に推移しました。また、引き続き「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の PR ゴールドパートナーとして、更なる盛り上げを後押しすべく関西方面のパッケージツアーを中心に予約を伸ばし、前年同月比202%と好調に推移しました。また取扱高を牽引する沖縄においても、沖縄本島北部の「やんばるの森」にオープンしたテーマパークのチケットを組み込んだツアーが夏休みのレジャー需要を押し上げ、前年同月比105%となりました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比105%の 54 億 2,898 万円となりました。

©Expo 2025

■ 訪日旅行

ハイクラスの日本文化体験として、国立劇場での日本舞踊または邦楽体験と新国立劇場での歌舞伎公演鑑賞を組み合わせたツアーの造成を行うなど、日本ならではの体験を商品化することで、更なる需要開拓に努めました。取扱高においては、欧州からの受客が取扱高を牽引し、特に HIS オランダ法人からの FIT（個人旅行）の受客が前年同月比で 125%と伸長しました。中でも夏祭り・花火大会を絡めたツアーをはじめ、大相撲名古屋場所の観戦ツアー・相撲ちゃんごランチなど体験型ツアーが人気を博しました。グループ会社のジャパンホリデートラベルにおいては、アジア圏からの受客が主要マーケットであることもあり、アジアからの日本行きのフライトの減便や機材の縮小などの影響を受け、前年同月比を下回りました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比91%の 9 億 4,868 万円となりました。

2025 年 7 月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比107%の 279 億 9,825 万円となりました。

2025 年 7 月 海外における旅行取扱高状況報告

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
インバウンド	15,467,506	14,092,337	109.8%
アウトバウンド	9,640,773	12,806,738	75.3%
合 計	25,108,279	26,899,074	93.3%

※イイチ・アイ・エス海外現地法人 32 社と海外子会社 4 ブランド（MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS）の社内取引相殺前の取扱高となります。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。 海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

※HIS 欧州現地法人の一部と MIKI グループとの統合により調整後の取扱高を反映しております

■海外インバウンド

グアムでは、伝統文化体験を盛り込んだ HIS 夏の限定イベント「LeaLea グアム 夏の体験王国」の開催や、大型団体旅行の誘致といった施策が奏功したことに加え、ティーウェイ航空による大阪/関西～グアム線の運航再開が後押ししたことで、前年同月比204%と大幅な伸びをみせました。スイスでは、商品ラインナップを拡充したことから、スイスと南ドイツを周遊する商品が台湾市場の需要を喚起し、前年同月比120%と好調に推移しました。また、オーストラリアでは、ゴールドコーストマラソンへの参加ツアーや、添乗員同行のケアンズ・エアーズロック周遊ツアーの催行数を増やしたことで集客が拡大し、前年同月比116%となりました。

カナダでは、引き続きバンクーバーやトロントといった主要都市に加え、夏のシーズンを迎えるバンフが好調で、山岳アクティビティの人気の高まり、前年同月比103%となりました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比110%の154 億 6,750 万円となりました。

■海外アウトバウンド

オランダでは、東京・大阪・京都といった定番の観光地に加え、和歌山県の高野山や熊野古道、さらには農家民泊体験が人気を集め、前年同月比104%となりました。ドイツでは、法人団体旅行の東京・大阪行きの新規獲得や、学生旅行の東京行き航空券手配が増加し、前年同月比131%と好調に推移しました。また、タイでは、期末決算セールの実施により、B2B の航空券手配が増加したことに加え、沖縄へのインセンティブ旅行が取引高に貢献し、前年同月比113%となりました。

一方、取扱高を大きく牽引するカナダでは、カリブ海やメキシコ行き商品の需要を継続的に取り込みしものものの政治的な影響でアメリカへの渡航が減少し、前年同月比77%で着地しました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比75%の 96 億 4,077 万円となりました。

2025 年 7 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比93%の 251 億 827 万円となりました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177